

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	少年補導センター運営事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費	会計	一般会計	事業コード	610106	決算付属資料	236	頁
	施策体系	施策コード	020201	施策名	健全育成体制を充実させる									
	開始年度	昭和47年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	福知山市少年補導センター条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	巡回指導などにより、青少年の非行防止と健全な生活を確保し、誰もが安全安心に暮らせる地域を目指す。									
	対象者	青少年、市民	対象者数	77,468	単位あたりコスト	0.1					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	街頭補導活動(官公庁の閉庁日を除く毎日)、特別補導活動(暴走族対策)(3回/年)、列車補導活動(1回/年)、社会環境浄化活動(1回/年)、啓発活動(3回/年)									
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
		報酬	少年補導センター運営委員会委員報酬							64	
報償費		補導員出務謝礼							942		
旅費		職員旅費、研修旅費							21		
需用費		活動冊子作成、消耗品費(用度物品、啓発物品)							173		
役員費、委託料、使用料及び賃借料	郵送料60、委託料10、使用料及び賃借料10							80			
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	1,925	1,598	1,492	1,325	1,348
		②補正予算			0		
		③流充用額	551	0	△ 113		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越			0	0		
		次年度繰越		0	0		
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	2,476	1,598	1,379	1,325	1,348
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		その他特財	0	0	0		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.05/1.26	0.05 / 1.26	0.15 / 1.26	0.15 / 1.26		
⑤概算人件費	3,550	3,550	4,350	4,350			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,026	5,148	5,729	5,675			
⑦執行額	1,966	1,236	1,280				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	79.4%	77.3%	92.8%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		街頭補導活動に対する注意助言件数の割合	%	9.7	7.8	16.6	12.5	10
		青少年補導件数(福知山警察)	人	677/850	568/850	424/850	400/850	350
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		少年補導委員による少年補導活動回数	回	298/300	308/300	200/300	/300	300
		単位あたりコスト		6.6	4.0	6.4		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	ほぼ毎日活動される街頭補導活動は、犯罪の未然防止活動として必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	街頭補導活動は、ほぼ毎日昼間・夜間に3～5人体制で取り組んでおり、適時・適地に効率的に実施している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	成果目標については、近年の傾向による目標としており、一定、理にかなったものと言える。注意助言の件数は減少しているが表面に出ない非行等が増加傾向にあると思われ、新たな啓発方法を検討する必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ●街頭補導活動回数に対する注意助言件数の割合が、列車補導時に多く見られ、前年度より増加しているが、きめ細やかな声かけが、青少年自身の振り返りや自覚につなげていけるものであったと考える。 ●各ブロックの補導委員により地域の状況に応じた活動が展開されている。 ●街頭補導では交通ルール違反、喫煙など身近な指導から、非行の芽を摘む活動が実践できている。 ●福知山市における青少年補導件数(福知山警察署発表)のH23～H27年の5年間の平均値850人を指標とする場合、近年の状況は50～60%と良好に推移することも健全育成活動の評価として適切である。 			
今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●青少年補導委員は青少年の健全育成と非行防止のため、『愛の一声』運動の街頭補導を行っているが、青少年の動向の現状認識、把握を進め、情報提供や研修会の開催など青少年補導委員の意識の向上を図ることで、日々の補導活動を充実させたい。 ●福知山市中心地域の補導活動だけでなく、周辺地域(中学校区ごと)などの補導活動の工夫と強化。 ●組織拡大による補導委員相互の連携強化と補導員の育成。 ●相談活動や環境浄化活動の充実と保護司会等の関係機関との連携強化。 ●『補導だより』は、市内全小・中・高等学校及び保護者に配布するが、広報誌の内容充実にも努めるとともに、日々の補導活動についても市民に啓発することで補導活動を周知したい。 			

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>■青少年補導委員は、青少年の健全育成と非行防止のため、『愛の一声』運動の街頭補導を行っているが、青少年の動向の現状認識、把握を進め、情報提供や研修会の開催など青少年補導委員の意識の向上を図ることで、日々の補導活動を充実させる。</p> <p>■補導活動については、青少年の健全育成について習熟した熱意のある方を選定し、委嘱を行うことで、活動の充実を図るとともに、警察・学校等の関係機関とも連携して、円滑な組織運営を図る。</p> <p>■子どもの問題行動や悩み事に関する相談については、少年補導センターへ直接来所される方は少ない。ただ相談そのものは学校や警察のサポートセンターなどにも寄せられているため、これら関係機関とも情報の共有を図りながら支援を続ける。</p> <p>■毎年発行している『補導だより』は、市内のすべての小・中・高等学校の保護者に配布しているが、広報誌の内容充実にも努めるとともに、日々の補導活動についても市民に公布することで補導活動を周知して行き、新たな補導委員の獲得につなげる。</p>
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	平成こだま教育推進事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費	会計	一般会計	事業コード	610114	決算付属資料	236	頁
	施策体系	施策コード	020201	施策名	健全育成体制を充実させる									
	開始年度	昭和58年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市の社会教育の重点に基づき、市民全体の人間力の向上、特に次代を担う青少年の健全育成を目指して、家庭・学校・地域社会の連携を大切に、市民総がかり・社会総ぐるみで活動を展開する。											
	対象者	市民	対象者数	77,468	単位あたりコスト	0.1							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
	委託先・実施主体等												
	事業概要	○揭示教育の推進:各自治会単位でこだま教育推進員を委嘱し、市内351箇所月2回揭示文を板書している。 ○啓発紙の発行:家族だんらの日作文集を市内全戸配布 ○青少年思いやり地域活動事業:青少年の学校外活動の推進や家庭と地域における教育力の向上を図る取組を各地区公民館を中心に実施 ○「心の教育」実践活動:教育行政、公民館、学校、関係団体による「心の教育」実践活動中央本部を設置し、各構成員が次代を担う青少年を健全に育成する必要性を認識するとともに、市民全体の共通認識となるよう「心の教育」実践活動の推進を図る。											
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費					
	需用費	作文集印刷製本費(全戸配布)、揭示黒板購入等						698					
	役務費	往復はがき代						4					
	負担金及び補助金	心の教育実践活動交付金						940					
関連事業													

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	配当予算	①当初	3,404	2,544	1,648	1,598	1,600					
		②補正予算	△ 130	111								
		③流充用額			93							
		④繰越額計	0	0	0	0	0					
	前年度繰越			0	0							
		次年度繰越		0	0							
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	1,572	1,356	1,082	799	1,600					
		国支出名	0	0	0							
		府支出名	1,702	1,299	659	799						
		地方債	0	0	0							
	その他特財	0	0	0								
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	みらい戦略一括交付金		種類	府支出名		実績金額	659	決算付属資料	28	頁
		特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	人件費	0.22/0.77	0.23 / 0.77	0.33 / 0.77	0.33 / 0.77							
⑤概算人件費	3,685	3,765	4,565	4,565								
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,959	6,420	6,306	6,163								
⑦執行額	2,955	2,628	1,642									
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	90.3%	99.0%	94.3%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		教育推進員による揭示活動	回	24/24	24/24	24/24	24/24	24
		「心の教育」実践活動の参加人数(あいさつ運動は除く)	人	20858/23000	26498/23000	22435/23000	20700/23000	23000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		揭示箇所数	人/箇所	356/357	356/352	348/351	314/349	345
		単位あたりコスト		8.3	7.4	4.7		
「心の教育」実践活動実施ブロック数	ブロック	10/10	10/10	10/10	10/10	10		
単位あたりコスト		295.5	262.8	164.2				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・いじめ問題、地域の希薄化など現代的な社会問題や課題を把握し、その解決に向け家庭・学校・地域が連携して取り組む事業として必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・教育推進員(348名)は、ボランティアで実施。また、「心の教育」実践活動や青少年思いやり活動についても、活動における人件費的な経費までは支援を行ってならず、各団体の協力で実施。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・成果目標については、事業規模から経験的に期待される目標としており、十分に理にかなったものとは言い難い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<ul style="list-style-type: none"> ●家庭・学校・地域社会が連携し、「あいさつ運動」、「家族だんらんの日」、「掲示教育活動」、「青少年学校外活動」など様々な活動を多くの地域で実施し、活動参加者も多くの方が関わっていることから、これらの活動が各地域で定着し、それぞれの地域実態にあった取り組みが進められていることは評価できる。 ●掲示教育は地域づくり、環境、人権等の啓発文を全市約350箇所掲示するもので、市民に教育のまちづくりを地域一丸での見守りの醸成を進めることができている。 	
今後の課題及び方向性		<ul style="list-style-type: none"> ●地域住民と児童・生徒の交流は図れており、今後、地域による学校支援の仕組みを研究し、協働活動を推進する。 ●今後も継続して、少年を取り巻く現状を把握し、課題解決に向け、各関係機関と連携を図る。 ●こだま教育掲示事業に関しては、高齢化に伴う掲示教育推進員の確保が課題である。 ●「こだま教育」「心の教育」等、名称の多様化とともに活動と事業内容が煩雑となっており、国の推進する地域と学校、行政が連携する「地域学校協働活動」への移行の検討を進める。 	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ■今後も継続して、少年を取り巻く現状を把握し、課題解決に向け、各関係機関と連携を図るとともに、地域学校協働活動ともかわり、さらに地域の人材を生かした事業を進めることを目指す。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	青少年健全育成事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費	会計	一般会計	事業コード	610204	決算付属資料	236	頁
	施策体系	施策コード	020201	施策名	健全育成体制を充実させる									
	開始年度	昭和28年												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等	地方青少年問題協議会法、福知山市青少年問題協議会条例												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	家庭と地域・学校が連携しながら、市民総がかりで次代を担う青少年が心豊かに安心して暮らせる環境づくりに努めるとともに、社会の一員として地域活動やボランティア活動に積極的に参加できる人材を育成する。										
	対象者	市の将来を担う子ども達	対象者数	6,178	単位あたりコスト	0.4						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	シルバー人材センター(表彰状筆耕)										
	事業概要	青少年問題協議会の運営(年1回) 青少年健全育成大会の開催(年1回) 「青少年を非行から守り健全に育てる運動」等の啓発活動(年1回)										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		報酬	青少年問題協議会委員報酬							64		
需用費		表彰記念品、看板作成等							23			
役務費		看板設置手数料、筆耕料							55			
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	467	436	273	343	296
		②補正予算			0		
		③流充用額	△ 61	△ 83	△ 41		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越		0	0	0		
		次年度繰越	0	0	0		
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	406	353	232	343	296
		国支出金	0	0	0		
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
	その他特財	0	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.42/0.14	0.32 / 0.14	0.25 / 0.14	0.25 / 0.14		
⑤概算人件費	3,710	2,910	2,350	2,350			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	4,116	3,263	2,582	2,693			
⑦執行額	343	297	141				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	84.5%	84.1%	60.8%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		健全育成大会参加者数	人	180	170	(中止)	180	180
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		健全育成大会開催	回	1/1	1/1	0/1(中止)	/1	1
		単位あたりコスト		343.0	297.0	0.0		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・市民の力で次代を担う青少年の健全育成は自治体の大きな課題であり、必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・コスト的に活動内容にあった運営となっている
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・活動実績、成果実績は、概ね達成できている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		●7月豪雨に伴い、健全育成大会をやむなく中止した。(大会内で行う予定であった各表彰については10月に行った。)	
今後の課題及び方向性		●青少年を取り巻く問題は、日々変化しているため、常に現状を把握し、現状にあった課題・対応策を青少年問題協議会の意見を踏まえ啓発活動などを実施し、青少年の健全育成活動を促進する。 ●市民への青少年健全育成や更生保護活動への理解と支援を得るため、令和元年度において福知山地区更生保護協会の実施する啓発事業に対し、補助金交付を行うこととした。非行や犯罪に走った青少年への立ち直り、見守りをとおして安心・安全な地域づくりを進めることができるものとする。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	教育委員会 生涯学習課												
	作成責任者	八瀬 正雄												
	事業名	成人式事業												
	会計情報	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費	会計	一般会計	事業コード	610301	決算付属資料	236	頁
	施策体系	施策コード	020201	施策名	健全育成体制を充実させる									
	開始年度	昭和26年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等													
	根拠法令等													
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	青年が次代を担う者としての自覚を高め、社会の一員としての意識を養い、自己の確立に努めることを基本方針とし、その方針を具現化するために成人の日の前日に式典を挙行し、参集した新成人を祝い、激励する。次代を担う新成人を保護者、地域が認め、受入れ、大人の仲間として受け入れる。												
	対象者	新成人・保護者・地域住民	対象者数	77,468	単位あたりコスト	0.1								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等	(株)フオールズ(警備)、Crew・Solook(音響・照明)、(株)街装社(会場設営)												
	事業概要	成人式の開催 平成31年1月13日(日)開催 三段池公園総合体育館 出席者：638人 内容 高校生による司会進行、新成人の主張、メッセージ集の作成・配布、市内各高校ボランティアによる式典運営協力												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容										H30経費	
		報償費	成人式協力団体謝礼										46	
需用費		記念誌印刷製本、看板作成等										105		
役務費		看板書き換え手数料、ボランティア保険料 他										54		
委託料		警備委託料、音響・舞台照明・設営業務										365		
使用料及び賃借料		会場使用料、機器借上げ料										314		
関連事業														

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額		
	配当予算	①当初	1,308	994	986	943	884	
		②補正予算			0			
		③流充用額	△ 195	△ 8	△ 60			
		④繰越額計	0	0	0	0	0	
	前年度繰越							
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	1,113	986	926	943	884	
		国支出金	0	0	0			
		府支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他特財	0	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.26/0.03	0.26 / 0.03	0.4 / 0.03	0.4 / 0.03			
⑤概算人件費	2,155	2,155	3,275	3,275				
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	3,268	3,141	4,201	4,218				
⑦執行額	995	981	884					
執行率 (⑦/⑥)×100	89.4%	99.5%	95.5%	0.0%				

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		出席者の割合	%	88.9/100	83.6/100	80.2 /100	/100	100
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		成人式開催	回	1/1	1/1	1/1	/1	1
	単位あたりコスト		995.0	981.0	884.0			
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・成人式は、全国的にも定着している事業であり必要。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・運営にあたっては、高校生ボランティアの募集、アトラクションも近隣高校に協力いただくなどコスト削減に努めている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・活動実績、成果実績とも概ね達成している。 ・30年度の成人式については、秘書広報課が福知山のPR動画をモニターで流すなど、他の課とも協力して、新成人に福知山市の魅力を再発見してもらえた。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<ul style="list-style-type: none"> ●平成18年度から対象者、関係者の増加に伴って三段池公園総合体育館で実施している。平成30年度も継続事業として実施し、大きなトラブルもなく対象者の8割以上の参加を得て開催できたことは評価できる。 ●近年の記念品の持ち帰り状況や近隣市の実施状況を考慮して、平成29年度から記念品を廃止した。 	
今後の課題及び方向性		<ul style="list-style-type: none"> ●継続的に事業実施を進め、新成人を祝うとともに激励し、大人としての自覚を促す。 ●市在住、出身、在勤の新成人が一同に介する機会であるので、若者の意識、考え方の聴取や市政PR等の場として活用されることを提案する。 ●成人年齢の引下げに伴い、成人式の対象年齢及び開催時期を検討する。 	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> ■成人年齢の引き下げを踏まえ、近隣市町の状況も参考にしながら本市での成人式の対象年齢を確定する協議を行い、令和4年までに方向性を定めることとする。 ■令和2年度中に近隣市町の動向調査を行い、庁内での検討をし、福知山市の方針を固める。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充